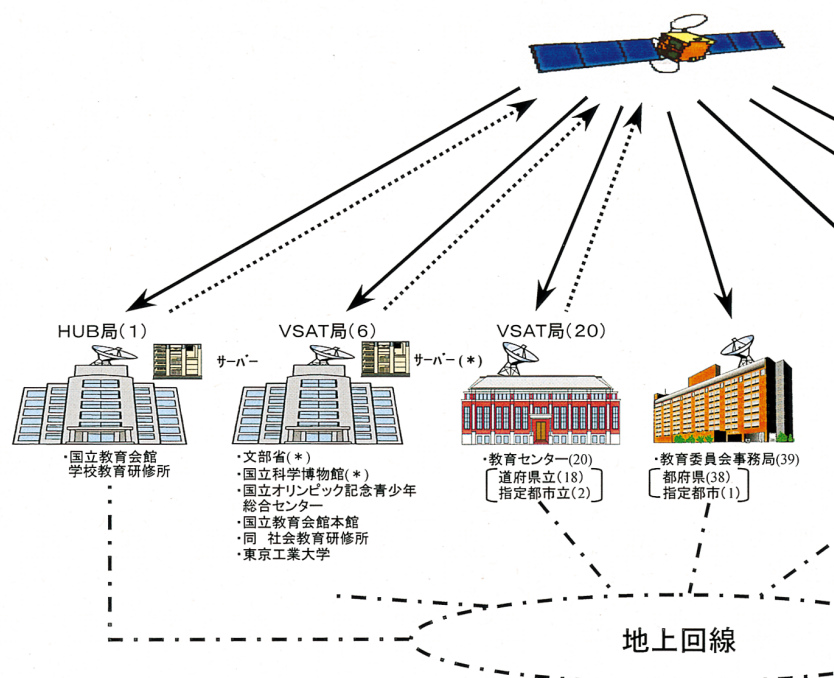


Q 59 文部省が平成11年7月から放送等を開始している「エル・ネット」とは一体どのようなものなのでしょうか？

A 「エル・ネット」(教育情報衛星通信ネットワーク)とは、通信衛星を利用して、教育・文化・スポーツに関するあらゆる情報を直接全国に発信する総合的なネットワークです。

このネットワークシステムは、通信衛星を活用し、現在、全国の学校、社会教育施設等に1,100か所以上の受信局が整備され、また、文部省本省、国立教育会館、国立オリンピック記念青少年総合センター、国立科学博物館、道府県・政令指定都市の教育センターなど27か所が送信局として整備されています。

「エル・ネット」の

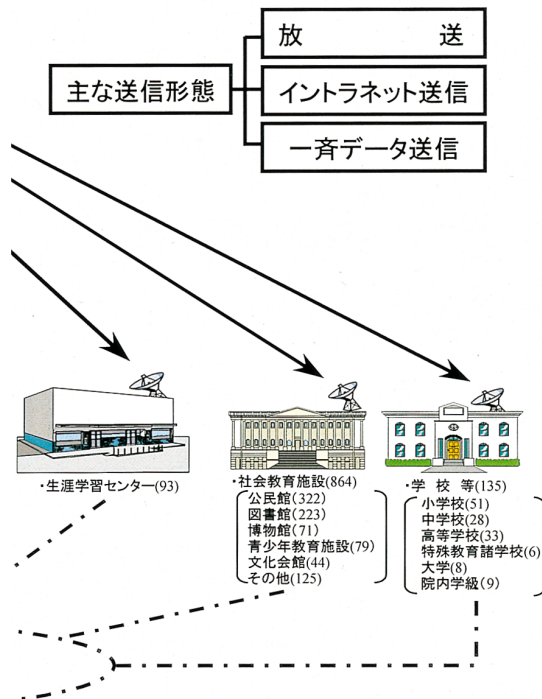


具体的な利用方法としては，子ども放送局，大学公開講座（エル・ネット・オープンカレッジ），都道府県の教員，教育関係者などを対象とした教員等研修（エル・ステップ）などの「放送」，様々なコンテンツを受信局からのアクセスにより送信する「イントラネット送信」，文書や資料の「一斉データ送信」などがあります。

このうち「子ども放送局」は，「全国子どもプラン（緊急3ヶ年戦略）」の一環として運営され，学校が休業となる土曜日の11時から16時に，子ども向けの番組を放送するものです。「双方向」というエル・ネットの特色を生かして，子どもたちがそれぞれの受信会場で様々な活動やものづくりに一緒に参加したり，自由に質問ができる「参加型」の番組が企画されており，全国各地の送信局から放送されている「地域発信型」番組の企画も期待されています。

また，毎週月曜日の13時から「文部省ニュース」が放送されているほか，文部省関係の会議・研修の多くが全国向けに中継されており，各受信局では文部省からの最新情報を直接受信することができます。

概要



平成11年3月31日現在